

に
じ

Vol.35

2015年12月発行号

ご自由にお持ち下さい

地域医療の
かけはし
となることを願って

Contents

- P2~3 当院外科のご紹介
- P4 続・新人ナース・介護福祉士奮闘記
- P5 ボランティアの輪
- P6 緩和ケア研修会・新任 Dr. 紹介
- P7 信頼と連携の輪・研修医日記
- P8 診療日程案内



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会川内病院

表紙：薩摩川内市 新田神社

当院外科の 診療について

済生会川内病院
統括診療部長 兼 外科主任部長

有留邦明

KUNIAKI ARIDOME



高齢社会が到来し、2人に1人ががんを経験する時代になりました。英国、がん患者支援施設「マーズセンター」の創始者、マギー・ジエンクスさんは、自身が、がんに罹患し、「がんになるというのは、地図もコンパスも持たずに飛行機からパラシュートで敵地に降りていくようなものです。自分がどの方向へ向かって進めばいいのかもわからず、適切な情報も与えられず、武器も持たず、近づいてくる死におびえるばかり。」と、自身の経験より述べています。

当院は、地域のがん診療連携拠点病院として、がんの発見、診断治療、緩和までを専門的に加療しています。当院、外科においては、腹腔鏡下外科手術、および開腹手術を柱とし、化学療法、放射線療法、緩和医療を加えた集学的治療を行っています。

当科の消化器疾患に対する手術方針は、①根治性、②安全性、③術後の生活、④低侵襲、⑤整容性を手術の原則とした方針で施行し、患者の満足度、Quality of life（生活の質）を重視した手術に努めています。アプローチは腹腔鏡、開腹、あるいは両者を加えたアプローチにて、手術は施行されます。消化器がん患者において、開腹、腹腔鏡アプローチに関係なく、根治性を重視し、がんをすべて切除する手術を安全に行い、手術後は、術前の生活に戻ることを目指した手術に努めます。アプローチとしての腹腔鏡下手術と開腹手術は、どのように行っていくのかの方針は患者さんの病状に合わせて、腹腔鏡手術および開腹手術を施行しています。

消化器外科領域の腹腔鏡下手術の発展は著しく、現在、全一般的に施行される手術で、年々増加しています。当院においても、毎日のように、腹腔鏡下手術が行われています。胃がんの半数、大腸がんの9割、胆石症、虫垂炎の9割5分以上、また、単径ヘルニアの4割に対して、腹腔鏡下手術を施行しています。腹腔鏡下手術の利点は、①傷が小さい。腹壁の傷が小さく患者の痛みが少なく、そのため、早期の離床が進みます。②出血が少なく、侵襲が少なく、癒着が少なく、スコープに装着された、ハイビジョンカメラによる拡大視効果が、層構造や小さな血管の確認を容易にし、一定の層を維持して、他の組織を傷つけることなく、目的の臓器を切除することで、手術による炎症反応を軽減しています。そのため、術後の臓器と臓器の癒着が少ないのです。また、上記の理由で開腹手術に比べて、術後の回復が早く、患者さんの体に優しい手術と言えます。腹腔鏡手術の発達、革新は、手術機器のめざましい開発によるものですが、その開発は、とめどなく現在も続いており、その一つが、

Doctor's eye

ロボット支援手術 (da Vinci) です。今後、消化器外科領域でも、先進医療から保健医療として容認されていくと思われます。当院にも、保険で認可された場合は、施行すべきであると考えています。



腹腔鏡下胃全摘術後1年目の創

がんの根治性を考える場合、化学療法、放射線療法を加えた手術療法が重要になってきます。化学療法、放射線療法は、奏効率、認容性の高い加療を選択、また、場合によっては、臨床試験に参加して、患者さんにとって、最適な個別化医療を行いたいと考えています。大腸がんについては、切除不能大腸がんにおいて、化学療法のみで、病状を3年以上コントロールできる患者さんが増えてきています。

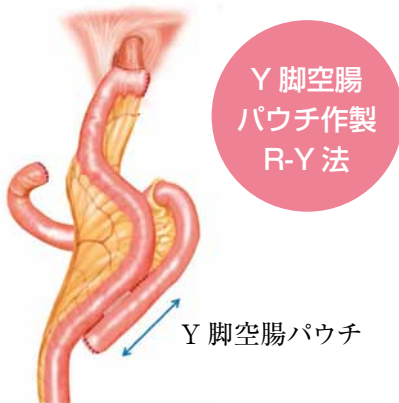
一方、術後に補助化学療法を施

行することも多い患者さんの根治術後の生活は、食事摂取に依存することが多く、カナダの医師ウイリアム・ソラは、「人を幸せにするのは胃袋である」と述べています。特に、当院では、胃全摘術後の栄養状態にも着目しています。

1897年スイスのSchallerが初めて胃全摘術に成功しましたが、その後、現在に至るまで、合併症の軽減、生存率の向上に伴い、胃全摘術が消化器外科医にとって日常的な手術となり、かつ、長期生存の患者の数は増加傾向にあります。胃全摘後には無胃状態になり、食事摂取量の減少、体重減少、栄養障害が認められ、有職者においてはしばしば職務に支障をきたします。そこで、胃全摘術後の食事摂取量の低下、ダンピング症状、逆流性食道炎症状を改善すべく、様々な再建術式が考案されてきました。代用胃としてのパウチは、蠕動方向の異なる二つの腸管を、自動縫合器を用いて吻合することで作製しますが、パウチを作製することで、小胃症状は改善され、食事摂取量が、胃全摘術後の栄養状態を左右するひとつであると考

えられます。

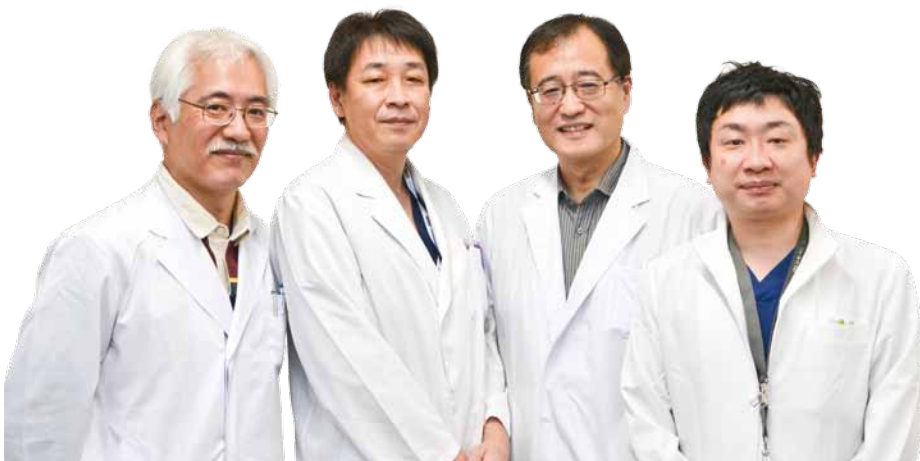
当院外科においては、胃全摘術後の再建術式 従来のR・Y法再建を改良し、Y脚部に順蠕動の空腸パウチ作製する、Y脚部空腸パウチ作製R・Y法再建 (Y foot jejunal pouch Roux-Y method、以下YPRY) を有留が15年前に当院にて考案しました。このY脚空腸パウチは、パウチ内で食物と十二指腸液とよく混和し、消化吸収が促進されると考えられます。さらに、このYPRY法は簡便で、再建時間が短いため、腹腔鏡下胃全摘術や、長時間を費やす進行がんに対する拡大手術の際の再建法を含めて、全ての胃全摘後の再建




Y脚空腸パウチ作製 R-Y法

Y脚空腸パウチ

において適応があると考えています。地域がん診療連携拠点病院としての使命を担う当院外科においては、腹腔鏡手術を取り入れた、低侵襲手術、化学・放射線療法、緩和療法を加えた集学的治療を、積極的に行っていきたいと考えています。



(続) 

新人ナース・ 介護福祉士の奮闘記

看護部教育委員会

庵 悦子・植松 裕見子
(いおり えつこ) (うえまつ ゆみこ)



《年間の新人教育内容》

- 4月 ①新人集合教育(～10月)
②1ヶ月グループワーク
- 5月 ①2ヶ月グループワーク
- 6月～8月 ①入院体験:1泊2日の入院体験
- 7月 ①4ヶ月グループワーク
- 9月 ①多重課題・6ヶ月グループワーク
- 10月 ①交流会 ②ローテーション研修(～11月)
- 2月 ①看護科学研修の参加
②ナラティブ発表会

本年4月に入职した新人ナース4名・介護福祉士1名の奮闘ぶりをお伝えします。
 当院看護部教育委員会では、「①社会人としての礼儀と節度を習得する②基本的看護実践力を身に付けケアが安全安楽に提供できる③受け持ち患者のケアの根拠がわかる④チームメンバーの役割を認識し責任が果たせる」を目標に1年間を通して様々な教育を行っています。今回は教育研修に取り組む新人たちの真剣な様子をお伝えしたいと思います(*^_^*)

4月

新人集合教育

沢山の技術を学びます！

1ヶ月グループワーク

自分の思いを語り合います！



5月

2ヶ月グループワーク

御家族や先生方を病院にお招きし、看護師としての成長を実際に見て頂きます！



7月

4ヶ月グループワーク

新人指導者に感謝の気持ちを込めてカップケーキとメモはさみをプレゼントしました。



10月

交流会

先輩看護師と食事会！

ローテーション研修

色んな部署で体験学習



いつもありがとうございます！

ボランティアの輪

当院には、外来に診察・治療でみえる方、入院されている方はすくなくありません。そんな患者さんの健康回復を願い、ボランティア活動で病院を支えて下さっている方々をご紹介します！



「笑いを以って薬と為す」

済生会笑励薩摩狂句のコーナーは、院内外を問わず皆様から投稿された句を有馬先生が添削され、定期的に掲示されています。

郷土文芸である薩摩狂句は、日常生活の喜怒哀楽や人生の機微、社会への風刺などを、方言を用い「五七五」で表現するものです。病院ならではの投句も多く、過去の作品も作品集として掲示されています。ぜひご覧になって下さい。

鹿児島県薩摩狂句協会会長、MBC 薩摩狂句学校選者
有馬 武蔵 様 (二刀流)

爺じの腰痛こしも看護ナース師せんん笑顔えごでひん治ちうち
有馬ニ刀流



当院 1 階ロビーにボランティアで花を生け始められて 19 年。四季折々の花の美しさを活かした先生の作品は、多くの人を癒して来ました。

こんなエピソードがあります。ある日、先生が花を生け替えていらっしゃると、一人の女性が話しかけて来られました。その方は、その日、検査結果の説明を受ける事になっており、朝からとても不安だったそうですが、エレベーターを待つ間、ふと目に留まった先生の作品に、ほっと癒され、励まされたそうです。お礼にお花代を渡されたそうですが、先生は「お役に立てたならそれで十分です。」と言って、丁寧に断りなられたとの事。

御年 87 歳の先生に若さの秘訣をお伺いすると、「皆に喜んで頂ける、こうした生きがいと主人の支えがあつてこそ！」と、素敵なお答えになりました。これからも益々お元気で！そして今後ともよろしくお願い致します！

華道家元池坊薩摩川内市支部常任理事、全国大会顧問
永田 幹江 様 (問覚 東光)

緩和ケア研修会が開催されました

副院長兼放射線科部長 小野原 信一 (おのはら しんいち)

本年も8月22・23日の2日間にわたり、当院主催の緩和ケア研修会が開催されました。

この研修会は「すべてのがん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識・技術・態度を習得すること」を目標に、2007年「がん対策推進基本計画」に掲げられたもので、がん診療連携拠点病院の指定要件となっています。7回目となる今回の研修会も、受講生18名（医師9名・歯科医師3名・理学療法士3名・作業療法士2名・看護師1名）、講師・ファシリテーター等参加者47名、計65名の参加を得て盛大に開催されました。



研修は2日間で13時間20分、内容は身体・精神症状の評価や治療法、医師と患者のコミュニケーション等広範なもので、形式も講義やグループワーク、ロールプレイと多彩です。かなりハードな研修会ではありますが、「患者さんの気持ちが理解できた」、「今後の診療に活かしたい」といった感想を多く頂いております。これからも引き続き開催して参りますので、より多くの医療従事者の参加をお待ちしております。

新任 Dr. 紹介



よろしく
お願いいたします!

新しく当院の医師となった
3名をご紹介します。

外科

氏名: 川越 浩輔

- 出身地 枕崎市
- 前赴任地 鹿児島大学病院
- 趣味 飲み会
- コメント 4か月間と短い期間ですが、よろしくお願いいたします。



11月
より勤務

整形外科

氏名: 香川 陽一

- 出身地 福岡県
- 前赴任地 今林整形外科病院
- 趣味 ドライブ、ツーリング
- コメント よろしくお願い致します。



10月
より勤務

産婦人科

氏名: 永井 さより

- 出身地 薩摩川内市
- 前赴任地 今村病院
- 趣味 温泉めぐり
- コメント 出産・育児のため1年休んでおりました。また川内で働けることに喜びを感じています。よろしくお願いいたします。



11月
より勤務

信頼と連携の輪 連携医療機関のご紹介

地域の中核病院は、地元の医療機関との緊密な連携プレーが欠かせません。そこで当院が日頃 大変お世話になっております連携医療機関についてのご紹介です。

《 小児科 》

宮崎小児科

薩摩川内市



理事長 宮崎 博 院長名 前野 伸昭 非常勤医師 大迫 豊
 住 所 薩摩川内市平佐町 1693-8
 電 話 **0996-20-6318**
 診療時間 【平日】(午前)9:00~13:00 (午後)15:30~19:30
 【土 曜】(午前)9:00~13:00 (午前)15:00~18:00
 休診日 日曜・祝祭日

平成8年に開業して、今年で20年目になります。当院は、なるべく患者さんが受診しやすい時間設定をしようと考えています。

1. 月～金曜日の午後の診療時間を、15時30分～19時30分としています。
2. 年末は、12月31日まで診療します。またお盆も診療します。
3. 正月は、1月2日は当番医として診療します。5月の連休は、4日か5日に当番医として必ず診療します。

以上のように、原則3連休を避けるようにしています。とは言っても、医療に休日はないのが現実です。ただここ薩摩川内市は、小児科の先生達の意識が高く、夜間、休日ともかなり良好な対応ができる体制が整っているため、みんなで協力してこれからも努力していきたいと思っています。

(院内感染へのとりくみ)

1. 診察室が2つあり、一般診療と予防接種は、別室でします。
2. 隔離用に、小個室が4部屋あります。
3. 診察室、各部屋、待合室、それぞれにウィルス、細菌とも除去できる医療用空気清浄器を設置しています。



宮崎 博



前野 伸昭



大迫 豊

子供たちの成長は速いもので、開業当初診療した子供が、最近では自分の子供を連れて来るようになりました。これからも、初心を忘れず、皆さんが利用しやすい診療所として、頑張っていきたいと思っています。

研修医日記



立志 公史郎

10月から鹿児島大学病院より来た、初期研修医2年目の立志といいます。

今まで主に大学病院にて研修をしてきて、今回済生会川内病院が市中病院は初めてであり、研修を行うにあたり少々不安がありました。大学とカルテの勝手が異なったり、採用薬品が異なったりと勤め始めは毎日が不安で一杯でしたが、上級医の先生方のご指導をはじめ、病棟や外来の看護師さんの助言をいただきながら毎日充実した日々を現在では送っています。

10月、11月は救急外来を主に内科を研修していますが、救急対応から入院、退院までの流れを任せてもらい大学とは違った側面を、身をもって経験し学ばせてもらっています。12月は小児科をローテーションする予定なので、子供たちの笑顔に癒されながらも、新たなことを一つでも多く身につけていきたいです。



杉田 光士郎

初めまして、研修医2年目の杉田光士郎と申します。9月から済生会川内病院で研修する機会を頂きました。早いもので2か月が過ぎようとしておりますが、

小児科の先生方を始め多くの先生方やスタッフのご協力もあり、楽しく充実した研修生活を送っており、すでに大満足しています。でもまだ帰るには早いのであと2か月研修させていただきます。僕はさつま町出身ですので地域の医療に携われていることをとてもうれしく思っております。昔から自分や家族がお世話になっていた病院で自分が働かせてもらい不思議な気持ちでもあります。赴任したときに作って頂いた診察券の番号は新任なのに割と古株だったようです。年明けからまた大学に戻りますが、研修病院としての川内の魅力を1年目研修医や学生に伝えられるようにがんばりますので何か隠れたアピールポイントがあれば連絡下さい。もちろん僕も今後またお世話になる可能性があります。あると思いますのでその際はよろしくお願ひします。

診察日程案内

平成27年12月現在

■ は再診日です。

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	糖尿病	西牟田 浩				倉野 美穂子		馬場 泰忠		久留 千鶴			
	消化器	岩屋 博道 (井上和彦)				青崎 眞一郎		牧野 智礼 (岩屋博道)					
	肝臓			吳 建		馬渡 誠一 樋脇 卓也				室町 香織			
	循環器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊			
	ペースメーカー (第3・4金曜)									福岡 嘉弘			
	腎臓	濱田 富志夫		小山田 美紀		南 真人		濱田 富志夫		小山田 美紀			
	呼吸器	※末次/秋原 /鷗木		※豊倉 和代						副島 賢忠			
	一般内科	南 真人 笠井 亜衣 (岩田美恵子)		再診日		岩田 美恵子 榊山 雅之 (笠井亜衣)		再診日		恒吉 研吾 (岩田美恵子)			
外科	外科	手術日		崎田 浩徳 (予約制)		手術日		有留 邦明 (予約制)		手術日			
	ストーマ外来 (第1火曜日)			有留 邦明									
小児外科	(一般外科手術)			池江 隆正 (13時30分-16時)	(一般外科手術)			手術日	(一般外科手術)	池江 隆正 (13時30分-16時)	池江 隆正 (第2-4土曜のみ) (9時30分-11時)		
整形外科	川添 泰臣 香川 陽一	病棟回診	手術日	川添 泰臣 香川 陽一	検査	手術日	川添 泰臣 香川 陽一	手術・検査	術後回診				
小児科	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時、14-15時 1ヶ月、11-13ヶ月健診 受付13-14時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時 14-15時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時、14-15時 発達外来 受付14-15時	再診日	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付14-15時 (第2金曜のみ) 受付14時半-15時半	田中 主美 吉川 英樹			
泌尿器科	1診	手術日	伏谷 俊作 古郷 修一郎	古郷 修一郎 伏谷 俊作	古郷 修一郎 伏谷 俊作	伏谷 俊作 上村 康介	再診日	上村 康介 古郷 修一郎	手術				
産婦人科	産科 野口 慎一 婦人科 松尾 隆志	1ヶ月検診	古郷 有佳子 手術日	松尾 隆志 永井 さより	予約検査	永井 さより 野口 慎一	手術	永井 さより/野口 慎一 松尾 隆志	予約検査				
眼科	非常勤医師	非常勤医師	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲	木村 勝哲				
皮膚科						非常勤医師							
放射線科	南立 亮	放射線治療	小野原 信一	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	南立 亮	放射線治療	小野原 又は南立		
緩和ケア外来			安原/勝目/原田 (精神症状緩和・隔週) 第1・第3火曜日 14-16時			崎田 浩徳(身体症状緩和) 有留 邦明(身体症状緩和) 毎週火・木曜日 14-16時							
ペインクリニック									西村 絵美				

- ※●呼吸器内科は月曜日又は火曜日(隔週)と毎週金曜日の診察になります。
 ●予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
 ●担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
 ●がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(平日9時～16時)
 ●がん患者さんご家族のサポートを行う緩和ケアチームがあります。
 ●セカンドオピニオンに関する相談を医療連携室にて行っております(平日9時～17時)

予約・お問い合わせは
 TEL (0996)23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日
 内科:14時～17時 その他:13時～17時

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

- 1.患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
- 2.医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
- 3.私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
- 4.公的中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
- 5.職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

権利について

- 1.誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2.病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
- 3.診療の過程で得られた個人の情報は(プライバシー)は守られる権利があります。

責務について

- 1.自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
- 2.医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
- 3.病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。

病院案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
 TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
<http://www.saiseikai-sendai.jp/>
 mail: info@saiseikai-sendai.jp